

静岡 沖縄を語る会

第54号

2022年7月6日(水)

清水区西久保300の12

富田英司

ゆうちょ口座

静岡・沖縄を語る会

00890-1-152770

中川五郎 *LIVE*

in Shizuoka



Ⓢ 辺野古新基地反対・玉城デニーさん支援 Ⓢ

☛ 7月16日(土) 午後2時~《開場:午後1時30分》

☛ MIRAIE リアン(コミュニティホール七間町)

∞ 大きな世界を変えるのは 一人の小さな動きから ∞



辺野古にて



この島を二度と「捨て石」にさせないために

沖縄・慰霊の日 : 戦なき世願い 継ぐ 教訓次世代へ 琉球新報6.24より

「戦争反対」「平和外交」の世論形成を

～私たちには、国会を「平和を議論する場」にする義務がある～

渡辺 幸重（静岡・沖縄を語る会：会員）

5月15日。テレビから流れる「沖縄復帰50周年記念式典」を見てびっくりしました。正面の大スクリーンに天皇・皇后が大きく映り、壇上の全員が深々とお辞儀をしたのです。会場の参加者のどれくらいが最敬礼をしたかわかりませんが、私は戦前戦中の「宮城（皇居）遙拝」や「“御真影”への敬礼」を思い出してしまいました。岸田首相だけでなく、玉城デニー・沖縄県知事も挨拶の前後には天皇・皇后の映像に頭を下げました。私が知事の立場だったら屈辱に耐えられなかったかもしれません。玉城知事はどんな気持ちだったのでしょうか。

6月23日。沖縄戦などの戦没者を追悼する慰霊の日に沖縄県糸満市摩文仁の平和祈念公園で「沖縄全戦没者追悼式」が行われました。この日は77年前、第32軍司令官牛島満中将と長勇参謀長が自決し、日本軍の組織的戦闘が終わったとされる日です。小学校2年の徳元穂菜（ほのな）さんが、県内の小中高校生の「平和の詩」911作品から選ばれた自らの詩「こわいをして、へいわがわかった」を読み上げました。玉城デニー知事は平和宣言の中で「在沖米軍基地の整理縮小や日米地位協定の抜本的な見直し、辺野古新基地建設の断念などを強く求める」と訴えました。式典には3年ぶりに首相が招待され、岸田文雄首相は基地問題について「負担軽減の目に見える成果を一つ一つ着実に積み上げる」「沖縄が経験した戦争を心に刻み、発展に全力を尽くす」

と建て前のみを述べ、挨拶の間、会場の外にいた市民から「掃れ」とやじが飛び、「辺野古の海を守れ」「基地が県民生活を脅かしている」「銭で（県民を）釣るな」などの抗議が続いたと報じられています。

岸田政権が進める「歯止めなき軍事力増強」

さて、岸田首相は沖縄県民を前にし、24万人の戦没者を追悼しながら「沖縄が経験した戦争を心に刻み」と発言しました。実際に岸田政権のやっていることを見ると、戦争体制に向けて経済を規制する経済安保法を5月11日に成立させ、5月24日には軍事大国化への道を示す日米首脳共同声明「自由で開かれた国際秩序の強化」を発表しました。その内容は、アメリカの核兵器使用をちらつかせて脅しをかける「抑止力、対処力の強化（拡大抑止）」を宣言するもので、岸田首相は国家の防衛に必要なあらゆる選択肢を検討する、防衛力強化と防衛費の相当な増額を確保するという決意を表明しました。これは、沖縄復帰時の密約にある「有事の際の核持ち込みを認める」ことを確認し、自民党提案にある敵地攻撃能力の保持や世界第3位の軍事費となる防衛費倍増（GDP比2%以上）を国際的に約束したことになります。しかし、これらは国会での審議や国民的議論を経たわけではありません。安部軍拡路線を引き継いだ岸田首相の完全なフライングなのです。

さらに岸田政権は6月7日、「骨太方針

2022（経済財政運営と改革の基本方針 2022 新しい資本主義へ課題解決を成長のエンジンに変え、持続可能な経済を実現～）」を閣議決定し、ここでも「防衛力を6年以内に抜本的に強化する」としました。これは「安倍元首相らが求める国内総生産（GDP）の2%以上の防衛費」を意味していると報じられています。一連の動きは沖縄の思いを踏みにじっていると思えません。

「ノーモア沖縄戦 命どう空の会」が日米共同声明に抗議、軍備強化の中止を求める

今年1月末、沖縄で発足した「ノーモア沖縄戦 命どう（ヌチドウ）空の会」はこれらの日本政府の動きに大きな危機感を持っています。日米首脳会談に対しては、いらいらく「日米首脳会談、戦争に突き進む日米軍備強化への抗議声明と中止要求」を発表し、日本政府に強く抗議しました。「沖縄の戦場化を懸念する日米首脳声明に強く抗議し、南西諸島の日米軍備強化、台湾有事に『対応』する日米軍事計画の中止を要求します」とし、「米国の核による日本防衛」「拡大抑止の確保」を批判し、日米両政府に対して、沖縄への緊急時の核再持ち込みと核貯蔵機能の維持を約束した佐藤・ニクソン「核密約」の無効確認を要求しています。

同会が敵国・中止を要求している内容は次の通りです。

一、バイデン米大統領は「台湾有事への軍事備前」の発言を撤回すること。

二、日米政府は台湾有事に対処する南西諸島の軍備強化、南西諸島を拠点とする攻撃作戦計画を中止すること。

三、米国政府は沖縄を含む南西諸島、日本本土への二重層ミサイルほかあらゆる米核兵器の配備、貯蔵を行わないこと。

一、日本政府は専守防衛に反する「敵基地攻撃能力」の保有を断念し、南西諸島のミサイル部隊配備を中止、自衛隊ミサイルの射程延長を中止すること。

一、米国政府は中国・台湾の緊張を高める台湾への武器輸出を中止、日本政府は防衛予算の増額を中止すること。

6月12日から慰霊の日の23日まで、平和の礎（いしじ）に刻まれた戦没者24万人の名前を読み上げるプロジェクトが沖縄を中心に全国で行われ、静岡・沖縄を語る会も参加しました。下城デニー知事が慰霊の日の平和宣言で「『命どう空』で平和を希求する沖縄の心が世界に広がることを祈念する」と述べた願いは、確実に広がっています。

軍事力増強に寛容な日本社会に感じる暗鬱

一方、日本全体の風潮は、ロシアのウクライナ侵攻の影響もあって、日本政府の既述の軍事要索化（ミサイル基地化）や軍事費倍増などに寛容になっています。野党の一部でさえ防衛費の増額を認めているのです。産経新聞は社説で、「ロシアはウクライナの防衛力を弱いとみなして侵略を始めた」とし、教訓として「防衛力を整えたり、同盟国と協力したりして、十分な抑止力を示すことが平和を保つ上で決定的に重要」と防衛力強化をより早めるよう求めています。また、石垣島の八重山日報は、慰霊の日の岸田首相に対する抗議の碑に刻し、「追悼式は戦没者の御霊（みたま）を慰める厳粛な場。会場に集まった人たちのマナー低下は沖縄の恥ずべき光景」と舌きました。玉城知事の辺野古新基地建設反対の意思表示に対しては「追悼式を政治的アピールの場として利用している」と批判しています。これら新規参入の保守系新聞の“広報”や

右翼議員の沖縄県内での活動も活発化し、右傾化を進めています。

冒頭に書いた天皇への最敬礼光景ですが、私は40年以上前のある講演会の様子を思い出しました。それは静岡市内で開かれ、舞台の真上面に大きな日の丸が飾られていました。石原慎太郎が講演のために壇上に立ったとき、「国旗」に礼をしなかったと坂口幸一が烈火の如く怒りました。石原はバツが悪そうに縮こまって日の丸に向かって最敬礼をした後「ハマノ一先生」のおべっかを取り、講演に入りました。そのときの日の丸はちょうど、今年の記念式典で天皇・皇后が映された画面と同じ位置・同じ大きさでした。私にはそのときの日の丸と今回の天皇・皇后の映像がだぶって見えました。40数年前はまだ、ハマノの言動は一部の特別な人のものという印象でしたが、今回の天皇の映像は当たり前のこととして扱われています。世の中が右傾化、戦前回帰の軍国主義復活という「こわい」思いが頭をよぎるのは私の考えすぎでしょうか。

戦火から住民が逃げられない「国民保護計画」

このほど石垣市は3年前に作成しながら非公開としていた「国民保護計画」を公表しました。他国からの軍事攻撃事態などの有事に備えて自治体が住民を避難誘導する際の計画で、国民保護法に則り、すべての自治体が作成しなければなりません。石垣市のそれによると、全島が制圧される恐れのあるときは全市民の緊急避難が必要で、民間航空機のみをベースとした場合は9.67円かかる試算、民間船舶を併用すればさらに短縮可能としています。ただし、民間航空機・船舶とも利用できない場合、自衛隊機・船舶のみでは数ヶ月を要するとなっ

ています。石垣市は全市民の避難には航空機381機が必要と見積もっています。また、沖縄県は今年度末に「武力攻撃予備事態」を想定し、先島諸島（八重山・宮古）から住民を避難させる県独自の図上訓練を実施するとしています。このことは何を意味するのでしょうか。前述した「ノーモア沖縄戦 命どろ宝（ヌラドウ）宝の会」の危機感とはこういうことなのです。近くにミサイルや弾薬などが配備された自衛隊や米軍の基地があり、攻撃されるかもしれない、攻撃されたときは果たして逃げられるのか、などの議論が巻き起こっているのです。しかも、これらの計画は「画に描いた餅」で現実離れした想定、と批判され、「結局住民は“人間の盾”にされる」と言われています。

『命どろ宝』で平和を希求する沖縄の心を世界に

日本政府は軍事・外交は国の専管事項として自治体のいうことを聞きません。沖縄がいくらがんばっても民意が反映されないのはそのためです。日本国民が沖縄を縛っているとも言えます。国会が機能しないことを許しているからです。有事を起こさないためには、全国各地で「軍事ではなく徹底した平和外交が必要」という議論を巻き起こし、国会を平和を議論する場にすることが一国民の義務ではないかと思えます。沖縄戦とウクライナ情勢の教訓は「どんなことがあっても戦争をしてはならない」です。軍事力強化は戦争の可能性を高めます。穂菜ちゃんと可じように、過去の沖縄戦と現在の軍備増強の「こわさ」を知って「へいわ」がわかり、平和宣言で工場集事が述べた「『命どろ宝』で平和を希求する沖縄の心が世界に広がること」に貢献したいと思えます。

PFAS について全く知識がなかったため、ネット検索したところ IPP という団体が見つかり、まずその基礎から……PFAS はパーフルオロアルキル化合物及びポリフルオロアルキル化合物約 4,500 種類の合成化学品の総称です。合成化学品とよばれるのは、フッ素と飽和又はほとんど飽和した単数又は複数の炭素鎖を含むためです。炭素・フッ素結合は有機化学におけるもっとも強いものであり、本結合により PFAS は耐火性・耐水性・耐脂性という物理的性質をもっています。(ようわかりませんが、とにかくとっても安定した物質で、人体も含め、自然界では分解されず、どんどん溜まるのです) 耐火性や耐水性の性質のため、PFAS は多種多様な産業・商業製品に使用されています。以下のものがその一例です。

- ・水溶性泡消火薬剤や、紙・包装製品



- ・繊維品・台所器具・電子機器・車部品の表面コーティング
- ・潤滑油や油性調合物
- ・その他の産業・

PFAS 化学品の市場は年間 10 億ドルを超えると見積もられています。

そしてこの物質は「発がん性」がとても高いのです。この有機フッ素化合物の1つである PFOS は残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 (POPs 条約) で国際的に製造・使用が制限され、国内でも一部例外を除き原則的に使用・製造が禁止されているのですが 2020 年の 4 月、PFOS の含まれる泡消火剤が普天間基地周辺の川に 14 万 3 千リットル=ドラム缶で 719 本分流失するという事件がありました。量から考えれば「意図的に流した」と思うのが普通です。

地下水を通じて人体にたい積

沖縄タイムスなどによると、米軍基地からの流失が近年たて続きに起きており、米軍が 2016 年 2 月に行った調査でも、暫定基準値である 1 リットルの中に 50 ナノグラムのなんと 576 倍の PFAS が検出されています。【ちなみに米軍が「公共の下水道レベル」とした事例でも、新たな勧告値は (1 リットル中 0.024 ナノグラム)】

この報道を受け有田芳生参議院議員 (立憲) は当時の参議院予算委員会で基地の外や地下水への流出について米側に問い合わせているかについて質問したところ、防衛省の担当者は「2016 年に限らず、様々な形で問題がある。米側と話して消火剤の取り換えを加速するよう要請している。」と答弁しました。また有田議員は宜野湾市民を対象とした血液検査で PFAS の血中濃度が全国平均を上回ったことも質問しましたが、防

衛省関係者は検査結果と米軍基地の関係については「一概に因果関係があると答えるのはむづかしい」と逃げを打っています。

米国では対策に乗り出す

大変な被害が予想される問題であるにもかかわらず、またしても「日米地位協定の壁」があり、米軍基地への立ち入り調査が行われたのは前述の2020年の時など2回だけです。協定では立ち入り調査要件を「事故が現に発生した場合」に限定しているのが大きな要因です。

米国内の基地でもPFASが問題化し、バイデン政権は対策に乗り出しているというのに、今年5月30日参議院予算委員会で岸田総理は「検出状況と毒性の科学的知見を確認する」と、官僚の作ったと思われる文章を読んだだけでした。

富士峠町と北谷町の県PFAS調査結果 2021年度冬季(単位:ng/L)

| 市町村 | 調査地点 | PFAS+PFOA (2019-20年) | 2021年度 冬季 | | | | | | 20年 夏季 | | | | | |
|------|------------------|-------------------------|-----------|------|--------------|------------|---------------|---------------|------------|--------------|---------------|---------------|------------|-------------|
| | | | 最小 | 最大 | PFOS | PFOA | PFOS+ PFOA | PFOS+ PFOA | PFOS | PFOA | PFOS+ PFOA | PFOS+ PFOA | | |
| 北谷町 | キャンプ北谷交差点 汚染水 | | 35 | 150 | 40 | 95 | 50 | 17 | 55 | 60 | 13 | 75 | 27 | 0.1 |
| | トクガ- | | 27 | 59 | 13 | 11 | 25 | 39 | 24 | 35 | 21 | 57 | 37 | 1.1 |
| 富士峠町 | 屋敷シ- | | 930 | 1500 | 910 | 75 | 990 | 640 | 64 | 1000 | 99 | 1100 | 710 | 0.5 |
| | カ- | | 1100 | 2100 | 1400 | 150 | 1600 | 720 | 340 | 1400 | 170 | 1600 | 770 | 3.0 |
| | 屋敷ヒ- | | 1300 | 2100 | 1500 | 180 | 1600 | 870 | 410 | 1400 | 220 | 1600 | 800 | 3.1 |
| | カ- | | 340 | 1000 | 250 | 84 | 340 | 440 | 30 | 130 | 61 | 190 | 280 | 0.1 |
| | 屋敷メ- | | 1100 | 1500 | 検出できず | | | | 980 | 110 | 1000 | 640 | 2.1 | |
| | 富士峠町水 釜湧水 | | 1800 | 1900 | 920 | 41 | 960 | 210 | 430 | 1700 | 79 | 1800 | 290 | 3.0 |
| | 三原赤戸等 (7地点) | | 230 | 3000 | 240~ 1800 | 34~ 180 | 290~ 1900 | 90~ 450 | 52~ 750 | 110~ 2100 | 36~ 190 | 150~ 2300 | 65~ 460 | 1.5~ 100 |

米連邦政府と日本国内の 水道水中のPFOS・PFOA濃度の設定状況

| | | | |
|---|---------------------|---|---|
|  | 現在の 米連邦政府 の対応 | 米環境保護庁(EPA) が「生涯健康勧告値」 として設定 強制力なし | PFOS・ PFOA 濃度 70 ng/1L |
| | バイデン 氏の 公約 | PFASを「有害物質」に 指定し、水道水中の上 限値を設定 強制力あり | 未定 |
| | 日本国内 の状況 | 厚生労働省と環境省が 水道水や水環境におけ る「目標値」として設定 強制力なし | 50 ng/1L |

※日米地位協定上は在日米軍には日本の国内法は適用されない。在日米軍の行動に関する日本環境管理基準(JECS)は日米の環境基準のうちより厳しいものとするを定めている。

上から下から……落下物と地下水

2017年12月普天間基地すぐ近くの保育園の屋根に落下物が、続いて小学校にはヘリコプターの窓枠が落下し、お母さんたちが子供を守るために声をあげましたが、加害責任のある米軍は対策を行わないため、日本側が訓練中のヘリコプターが近づくと非難するという「自衛手段」を取らされています。

そして今度は避難できない地下水、ペットボトルの水くらいしか自衛手段はありません。お母さんたちは再び立ち上がりました。当会としても「水の安全を守るママたちの会」の動きを、今後も追いかけていきたいと思っています。

PFASなどの科学知識のある方にお問い合わせがあります。わかりやすい解説や、この記事の間違いなどがありましたら指摘・訂正よろしくお願ひします。(沖縄を語る会・事務局長)

5・21 静岡・沖縄を語る会：総会講演報告

「琉球弧—南西諸島」への自衛隊配備増強はどこまでいくのか？

講師：木元茂夫さん（すべての基地にNO！を・ファイト神奈川）

英空母と海自・陸自が共同訓練！

木元さんから、昨年8月28日、11年ぶりにイギリスの空母カールビンソンが横須賀に来港し、9月4日にはクイーン・エリザベスという空母がやって来て海上自衛隊、航空自衛隊と予想を超えて11回もの共同訓練を行ったと報告がありました。他のアメリカの空母レーガン、カールビンソンの演習を加えると8月～11月にかけて30回位の演習が行われたそうです。

東富士でも日米合同訓練が！

今年3月の東富士演習場の日米合同訓練でオスプレイが参加をしました。

東富士演習場でやった訓練の内容は陸上の演習場を沖縄の離島にみたくて、離島からミサイルを発射する訓練。あるいは上陸してきた相手と戦闘をやる訓練を実施しているようです。

去年の秋に東北方面隊が、宮城県や北海道の矢白別という演習場を使って日米合同訓練をやっています。それが東富士に下りてきたということです。

南西諸島でも相手の電磁波を妨害する 電子戦部隊が発足！

来年の3月までに石垣島に今建設中の駐屯地を開設予定。一番台湾に近い与那国島に電子戦部隊約70名の配備を公表。防衛省が電磁波を使って相手の電磁波利用を妨害する陸上自衛隊の電子戦専門部隊を令和5年度末までに、沖縄県与那国島と長崎県の対馬に配備を予定。電子戦部隊の最新装

備を導入した初めての専門部隊が熊本県で発足し、北海道から九州にかけての列島の弧と九州・沖縄にかけての弧という二つの弧を描く形で10カ所以上に部隊を配置し、電子戦で先行する中国とロシアに対抗する構えを築くそうです。

18日に熊本県の健軍駐屯地で80人規模の電子戦部隊を編成。電子戦部隊が全国的に配備されていき、特に南西諸島が重視される見込みです。南西諸島の配備には169億円の予算がついているといいます。

石垣島では駐屯地の工事が始まっておりますが、さらに車両整備所を造ります。宮古島駐屯地の倉庫弾薬庫。宮古島のドア訓練所というのが島の南の方に出来ました。

さらに奄美大島の火薬庫の工事も進んでいます。自衛隊はこれまで武器がなくて弾がないという批判がありました。自民党はこれから闘い続ける力を増強するために弾薬を確保すると言い出しています。



◆講演する木元茂夫さん

自衛隊が継戦能力向上を図ろうとしている。

鹿児島県の種子島から約12キロ離れた

ところに馬毛島という島があります。市長さんがこの馬毛島への基地建設には一昨年から反対をし続けていたんですが、今年から態度に歪みが見え始め、環境影響評価の段階となっています。

また、奄美大島の奄美空港には米軍機の飛来が相次いでいて、とんでもない低空飛行をやるので鹿児島県議会で抗議の決議が上がっています。

米軍火薬庫が自衛隊と

共同使用の案も

米軍の弾薬庫を米軍と自衛隊が共同使用するという案が持ち上がっているそうです。

宮古島は奄美大島と同じ2019年の3月に陸上自衛隊の宮古島駐屯地というのが出来ました。ところが、ミサイルを住民に撃って撤去したことが分かりました。自衛隊の大型揚陸艦の「しもきた」が絶対艦ミサイル、地对空ミサイルを早良港に陸揚げしました。

石垣島では23年の3月に石垣駐屯地が開設され、自衛隊員570名を配備する予定だそうです。実際にミサイルを発射して、船にぶつけてその破壊力を確認する。そういう訓練が増えていきそうです。

また、自衛隊はこの十数年輸送方の増強に力を入れてきています。

自民党が4月26日に発表した新たな国家安全保障戦略に向けた提言があります。安全保障戦略と防衛計画の大綱と防衛力整備計画という三つの文章を今年中に改訂し、防衛計画の大綱を国家防衛戦略に変更しようと言っています。

参院選の勝利と私たちの運動強化を！

それが本当にそうなるかどうかは7月の参議院選挙と、その後の私たちの運動をどう広げるかにかかっています。

陸海空3自衛隊が、作戦能力や継戦能力

の向上、電子戦などを合わせた作戦のための訓練をやっています。

反撃能力の対象範囲は、相手国の指揮統制機能を含むものもあり、運用如何によっては自衛隊が先制的攻撃ができることになります。日本に向けて撃つ可能性があるという判定をしたら長距離ミサイルを撃つてもいいんだということになってしまいます。

相手から武力攻撃を受けた時に初めて防衛力を行使する。その対応も自衛のための必要最小限にとどめる。ここでいう必要最小限の自衛力の具体的な例とはその時々国際情勢や科学技術の諸条件を考慮し決せられるものである。と言っています。

去年の3月に艦体軽ミサイル1000キロ～1500キロ飛ぶミサイルを開発する。2026年あたりからは自衛隊の能力は大きく変わろうとしています。

年間5000人も自衛隊員の

中途退職者が続出！

自衛官を増員しても自己都合の自衛官の中途退職者が10年間で約4割増加し、年間約5000人が中途退職しています。

増員をいくらやっても自衛隊の中では、いじめ・恐喝・暴行がなくなりません。自衛隊の現状の中ではこの退職者を減少させるのは当面無理だと言っています。

かわって、前線の背後にある安全な所の自衛隊輸送能力の迅速化を図る。

以上が自民党の提言です。

中国軍は空母や強襲両陸艦を増やすだけではアメリカに対応できない。

中国の王外相が言ったことは、ロシアに対する経済制裁に同調しない。反感を買った。

ロシアに対する経済制裁に同調しない中国は脅威である。私はそうは思わない。中国の台湾進攻はあり得ない

同調しない国が54カ国ある中で日本は柔軟な外交姿勢を持つべきでしょう。アメリカ追従では日本は本当に戦争に巻き込まれていく可能性がどんどん増えていきます。

ウクライナ問題 平和的外交で

戦争を止めよう！

ウクライナ問題について、各国が平和的交渉ではなく武器の供与ばかりに力を入れています。それが続けば海外へ流出してしまったウクライナの500万人を超える人々がいつまでも戻れない状態になります。

日本はこれまでやって来た平和外交をきちんと堅持をすべきだ。私と同じ世代の人が主張をして声高に叫ぶべきだ。と結びました。

質疑・討論では、平和外交をやらないことに対して、陸上自衛隊が30年ぶりに全駐屯地を対象とした陸上自衛隊演習を行いました。続いて自衛隊統合演習が3万4千人。おととしの段階まで日米合同上陸作戦は少なかったですが、去年、何と千人を超えるような規模までエスカレートしました。

千名を超える日米合同上陸作戦が！

同じテントの中に自衛隊とアメリカ海兵隊の軍人が集まって、どっちがどういう目標を分担するか協議を行った。これは本当に憲法違反です。

それが訓練だけではなくて、訓練を繰り返して実際に起きるようになると恐ろしい。中国との全面戦争は私は考えにくいと思う。海上での群発的な衝突はこれから起こりう

る可能性は高まりつつあるが、日本とアメリカ軍が特に海軍海兵隊が一緒になって攻撃をするという事態は起こしてほしくない。

徳之島の方へは、琉球列島は何百年と植民地だったんです。会を開いたのに我々同胞が誰もいないのはちょっと寂しい。

私たち沖縄を語る会も出来るだけ沖縄の人たちと交流をしていきたい。

自民党の提言を撤回させよう！

現在の国家安全保障戦略という文書の中には、建設的な外交努力という言葉が入っている。(2013年)。今回の自民党の提言はあまりにもひどい。まずは野党の議員さんに頑張ってもらいたい。こういう文書がまかり通ることを阻止していかないとけない。ウクライナ問題について、戦争によっては解決できないんだ。と思う人は増えている。そういう中で自民党の提言はおかしいということを訴え続けていくことが必要です。

(編集：佐野雅之・大石恒雄)



本土復帰50年(6月23日慰霊の日に寄せて)

本土復帰と米軍基地反対

前号に同題の私論を書いたが、5月に「語る会」で復帰50年の小写真展を開催し、その取組を含めて再び筆を取る。

連休明け2週間、静岡市中心部で写真展を開いた。市民100名程が展示を観、新聞に掲載され予想外の結果だった。

さて、復帰50年に合せて本土のテレビや新聞も心情的に沖縄に寄り添う取り組みをした。沖縄復帰が沖縄県民の意志を無視した事、「核持ち込み密約」も報道した事は評価する。が、辺野古新基地工事強硬を「**再度の沖縄処分**」と見ていない事は残念であった。同様に南西諸島の自衛隊配備も「**沖縄を本土の踏石にした沖縄戦**」を再度、沖縄に押し付けた視点が無かった。「辺野古以外に選択肢は無い」、「沖縄戦は私の知らない歴史」と言う政府への批判さえ全く聞かえない事に苛立つ日頃である。

核持ち込みの密約

50年前、いや今も米軍基地の弊害を沖縄に押し付ける最大問題点は「核」である。「核抜き」を表明した佐藤栄作が沖縄への「核持ち込み」を69年にニクソンと密約した報道はあった。勿論、復帰時に核は撤去されたと聞く。が、一部は残存され、有事には持込・備蓄され続けた。「核」の密約は単に沖縄の問題ではなく政府と国民の重大な契約違反で、民主主義の根幹である「**情報所有権は国民**」への挑戦で、「**独裁**」を許し兼ねない事を強く訴える。日本の社会的同調圧の高い環境は、清濁併せ呑み、政治の裏を認めるのが大人だ、と言う。が、50

年前より人権意識の成長した今、復帰問題を語る際に「**密約の卑劣さと人権無視**」の視点に立つのがマスコミだろう。

オール沖縄の衰退と新組織

名護市長選の敗北要因は多々あるが、故翁長知事の誕生に始まった「オール沖縄」の衰退が招いた現象である。衰退の大原因は翁長氏亡き後、自民党に因る翁長氏廻りの人脈の切り崩しがパンチとなった。が、価値の多様化した社会で「沖縄」と言う同一性のみが基軸の組織に頼った事も選挙の弱点だろう。今秋の知事選も辺野古新基地反対派にとっては戦術の1つだが戦略ではない。又、南西諸島への自衛隊配備問題も沖縄の米軍基地をなくす、と言う素朴な沖縄の大衆運動にとって同等の価値を有した問題ではない、と思うが、この捉え方は問題の本質を失うと評価されるのか？ 問題提起である。さて「オール沖縄」に替わる新組織の旗揚げがあり、「語る会」も新組織へ参加し、私も端で仲間を募集する。しかし、山城博治共同代表の新組織の主張=檄文を読んで個人的には違和感を持った。かつての左翼と同じ？ 「沖縄、日本を2度と戦場にしない」スローガンは崇高な戦略である。



◆県民投票主催の元山氏は官邸前等でハンスト決行。

しかし、沖縄が不十分な復帰50年を迎え、多くの県民の結集を呼び掛けるには狭い思想と感じたのは私だけだろうか。特に復帰体験の無い、基地の存在が当然の若い層との接点は、私には見えないのが気掛りである。と同時に、沖縄は新しい社会・経済体制を模索している事にも視点を置く運動の主張が求められるのではないのか。左翼のみが正しいと言う思想からの脱却が必要だろう。

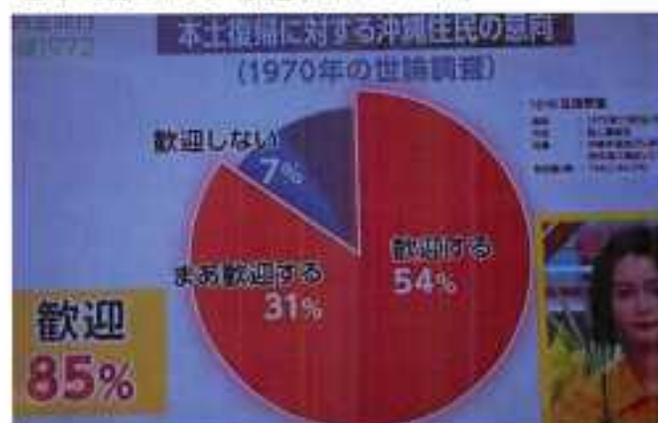


◆50年の年月と沖縄県民の努力による沖縄経済の構造改革で、県民意識も大きな変化がある事を見失うと、沖縄問題が単なる政治問題になる事を危惧する。

「本土並み、米軍基地の縮小」は左翼だけの論に非ず。辺野古新基地反対も自然保護活動家や心情的反戦論者、日米地位協定改定者、県民無視を怒る反対者もいる。

それは、この多様な新基地反対者が「沖縄を戦場にせず＝南西諸島自衛隊配備反対」を如何に捉えるか？ この主張は何？ と言う輩は「命ドッ宝の会」に不用、と切り捨てるのか？ かつて私共は原理主義に陥って運動を見失った世代ではないのか？ 文頭で「オール沖縄」批判を語った私と同様の誤り、と言うのは新組織を貶し過ぎだろうか？ 50年前の復帰時の意識調査で、

85%の県民が復帰を歓迎し、順次の基地縮小を望んだ事を確認したい。復帰反対・基地即時撤去は少数意見であった。



◆復帰直前の世論調査で沖縄県民が示した意識。

参院選が告示され「語る会」の一部会員は護憲派の選挙活動を担っている。

テレビ討論で田原総一郎氏の「日本は安全保障を問題視しなかった」の発言に、防衛研究所の高橋杉雄氏が吠えた。「問題視しないのは貴方方で、我々を行っている」と。これを名言と言えば破廉恥だろうか？ 一部右翼や防衛省は軍備増強で安全保障を捉えてきた。一方、護憲派は「守る9条」以外を全てタブー視してきた。「戦争せず＝軍事力放棄と外交努力」も安全保障だが、ウクライナ情勢の中で言えるだろうか？ 「戦争は拒否、占領されれば即捕虜で良」と語った新聞論説を読んだが、これぞ護憲派と言いたい。ウクライナ・マリウポリ製鉄所地下脱出の光景を見た沖縄県民が77年前の沖縄戦でのガマ脱出を思い出し、涙した記事を読んだ。「命ドッ宝の会」に疑問を呈しながら、同会主張の芯柱であるウチナンチュウの「非戦の重み」を批判しきれない私がいる事も確かである

増田千次郎（静岡・沖縄を語る会・顧問）

「こわいをして、へいわがわかった」

沖縄市立山内小学校2年

徳元穂菜

びじゅつかんへお出かけ

おじいちゃんや

おばあちゃんも

いっしょに

みんなでお出かけ

うれしいな

こわくてかなしい絵だった

たくさんの人がしんでいた

小さな赤ちゃんや、おかあさん

風ぐるまや

チョウチヨの絵もあったけど

とてもかなしい絵だった

おかあさんが、



U n a r m e d

西辺中学校3年 上原美春

偽善者だ

お前が戦争に行けばいい
お前が死んでしまえばいい

おまえが
おまえが

一年前

摩文仁で平和を訴えた

決意を新たに

誇らしく

大好きな沖縄

大好きな世界

命の尊さ

いいことをしたと思った
皆が喜んでくれると思った

賞賛があり

拍手もあつたけれど

私の心を刺したのは

ナイフのような言葉の数々

悔しくて悲しくて痛くて痛くて

この気持ちを何処にぶつけよう

なんと言い返してやろう

この痛みをどう解らせてやろう

私は悪くない

あいつが

あいつらが
そんな事を考えた

返して欲しい宝物

もう戻ることもない 愛おしい人

拳に爪が立つほど

悔しくて堪らなかつた

噛んだ唇が切れてしまうほど

悲しくてやりきれなかつた

七十七年前に戻ってくる

お前が死ねばいい

そんなことを言われた

私のあの日が戻ってくる

それでも

武器を置きたい

私は弱い

沢山傷ついて

傷つけようと思った

何度も逃げて

立ち向かうことを放棄した

それでも

武器を置きたい

傷ついたから

人の痛みがわかるから

何リツトルも

涙を流したから

武器を置くことを
私の強さと呼びたい

七十七年前のおきなわの絵だと
言った

ほんとうにあったことなのだ

たくさんの人たちがしんでいて

ガイコツもあった

わたしとおなじ年の子どもが

かなしそうに見ている

こわいよ

かなしいよ

かわいそうだよ

せんそうのはんたいはなに？

へいわ？

へいわってなに？

きゆうにこわくなって

おかあさんにくっついた

あたたかくてほっとした

悼式 「平和の詩」 Unarmed(アンアームド・非武装)

どこかで誰かが戦争を始めたらしい
弾丸の打ち込まれた街並

着の身着のまま逃げる人の列

「おなががすいたよ」

幼い子供がそう言った

涙を流して家族と別れる

軍服のパバがいた

飢えに倒れた夫の冷たい手を取る

青い目のおばあさんがいた

ふたつの国の人ほどちらも

私の国は悪くないと言っていた

おまえが あいつが

そんな気持ち

争いの種になるんだろうか

わからせてやろう ぶつけてやろう

そんなどす黒い雨が

種を育てしまうのだろうか

本土復帰五十年

インタビューのおばあが言った

どちらも

武器を置きなさい

私達は弱いから
先に武器を置こう

見てきた

聞かされてきた

学んできた

脳に刻まれているはず

細胞の一つ一つが覚えていているはず

知っているはず

人間の弱さが起こした過ち

相手を傷つけることでしか

自分を守れなかった

弱い私達の過去

だから武器を置こう

明日も生きたいと願った

お願いだから生きていてと祈った

並々ならない

命への想いを

知っているはず

「命どう宝」と言いきれる勇気を

私達の強さと呼びたい

痛かったけど

痛いけど

武器を置こう

私は強い

私たちは強い

切り裂かれた大地に立つガジュマル
樹の根が手折られた葉を立直す月夜

おねえちゃんどけんかした
おかあさんは、二人の話を聞いて
くれた

そして仲なおり

これがへいわなのかな

せんそうがこわいから

へいわをつかみたい

ずっとポケットにいれてもって

おく

ぜったいおとさないように

なくさないように

わすれないように

こわいをして、へいわが

わかった



宮古島市全戦没

あの絶望を見てきたおばあ
殺戮の歴史を知っているおばあ
無邪気な青春を、あどけない時間を
奪われ捧げざるを得なかった
争いが残した貧しさの中一心不乱に
働いて働いて働くしかなかった
それでも

どちらも武器を置きなさい
憎しみが何を産んできたのか
命こそが大切なものじゃないか

私も

同じ沖縄に生きている
戦火を耐えてなお鎮かな
戦後を駆け抜けてなお揺るぎない
彼女と同じ今を生きている

今年のあの日がやってくる
六月二十三日
沖縄が毎年思い出す
忌まわしい記憶
忘れない思い出

飛いたら
だから

先に
武器を置く

辛かったけど
辛いけど

生きていよう
生きていよう

私は強い
私は強い

私たちは強い
ずっと命を尊んできた

心臓の鼓動が続くこと
呼吸が明日も止まらないこと
当たり前を願った沖縄の思産子

辛かったから
辛いから

だから
今日も

生きていよう
生きていよう

私達は強い
だから今日も

揺るぎなく平和を願っていよう

一二歳

初めて命の芽吹きを見た。
生まれたばかりの姪は
小さな胸を上下させ
手足を一生懸命に動かし
瞳に湖を閉じ込めて

「おなかすいたよ」

「オムツを替えて」と

力一杯、声の限りに訴える

大きな泣き声をそっと抱き寄せられる今日は、
平和だと思う。

赤ちゃんの泣き声を

愛おしく思える今日は

穏やかであると思う。

その可愛らしい重みを胸に抱き、

六月の蒼天を仰いだ時

一面の青を分断するセスナにのって

私の思いは

七六年の時を超えていく

この空はきつと覚えていく

母の子守唄が空襲警報に消された出来事を

灯されたばかりの命が消されていく瞬間を

吹き抜けるこの風は覚えていく

うちなーぐちを取り上げられた沖縄を

自らに混じった鉄の匂いを

踏みしめるこの土は覚えていく

まだ幼さの残る手に、銃を握らされた少年がいた事を

おかえりを聞くことなく散った父の最後の叫びを

私は知っている

礎を撫でる皺の手が

何度も拭ってきた涙

あなたは知っている

あれは現実だったこと

煌びやかなサンゴ礁の底に

深く沈められつつある

悲しみが存在することを





凜と立つガジュマルが言う

忘れるな、本当にあったのだ

暗くしめつた壕の中が

憎しみで満たされた日が

本当にあったのだ

漆黒の空

屍を避けて逃げた日が

本当にあったのだ

血色の海

いくつもの生きるべき命の

大きな鼓動が

岩を打つ波にかき消され

万歳と投げ打たれた日が

本当にあったのだと

六月を彩る月桃が揺蕩(たゆた)う

忘れないで、犠牲になっていい命など

あって良かったはずがない事を

忘れないで、壊すのは、簡単だという事を

もろく、危うく、だからこそ守るべき

この暮らしを

忘れないで

誰もが平和を祈っていた事を

どうか忘れないで

生きることの喜び

あなたは生かされているのよと

いま摩文仁の丘に立ち

私は歌いたい

澄んだ酸素を肺いっぱいにとりこみ

今日生きている喜びを震える声帯に感じて

決意の声高らかに

みるく世ぬなうらば世や直れ

平和な世界は私たちがつくるのだ

共に立つあなたに

感じて欲しい

滾(たぎ)る血潮に流れる先人の想い

共に立つあなたと

歌いたい

蒼穹(そうきゆう)へ響く癒しの歌

そよぐ島風にのせて

中学生が考えた武器を置く「強さ」

昨年の「平和の詩」朗読に俳勝中傷

…傷ついた心が見つけたこと



宮古島市全戦没者追悼式で平和の詩

「Unarmed (アンアームド、非武装)

」を読み上げる上原美春さん=23日

歌いたい
平和な未来へ届く魂の歌

私たちは忘れないこと

あの日の出来事を伝え続けること

繰り返さないこと

命の限り生きること

決意の歌を

歌いたい

いま摩文仁の丘に立ち

あの真太陽まで届けと祈る

みるく世ぬなうらば世や直れ

平和な世がやってくる

この世はきっと良くなっていくと

繋がれ続けてきたバトン

素晴らしい未来へと

信じ手渡されたバトン

生きとし生けるすべての尊い命のバトン

今、私たちの中にある

暗黒の過去を溶かすことなく

あの過ちに再び身を投じることなく

繋ぎ続けたい

みるく世を創るのはここにいるわたし達だ

発足!

ノーモア沖縄戦 命どう宝の会

「島々をふたたび戦場にさせない」——皆さまのご賛同を広く呼びかけます

平和を望む全国の声を集め、戦争への道をストップ!

ご賛同、ご支援を呼びかけます

<https://nomore-okinawasen.org>

77年前、筆舌に尽くせぬ戦禍を被った沖縄にふたたび戦争の危機が迫っています。中台間の緊張を煽る日米政府は与那国、石垣、宮古、沖縄、奄美、馬毛島の島々にミサイル基地や自衛隊駐屯基地を配備し、「台湾有事」を口実に戦争準備へと突き進んでいます。軍事力強化は国家間の緊張感を高めるばかりで、ひとたび衝突が起こり紛争がエスカレートすれば、真っ先に標的にされるのは、これらの島々であり、特に台湾に近い与那国、石垣、宮古島などの「先島諸島」に戦火が及ぶのは火を見るよりも明らかです。

こうした状況の中、危機感を抱いた沖縄のジャーナリスト、学者、文化芸能関係者、平和活動家などが一堂に会し、全国に向けて声明を発しました。ぜひ、ご賛同、ご支援をよろしくお願いいたします。数千数万の力を結集し、政府に対し外交的努力による平和的解決を求めていきます。ぜひ、ごいっしょに戦争への道をストップさせましょう!

上記ウェブサイトにある同会発足の趣意書をご覧の上、呼びかけ人または賛同人になっていただければ幸いです。カンパご支援は一口500円からお願いしています。Fax、郵送でも受け付けます。裏面用紙にご記入の上、お送りください。(送付先) 〒900-0021 沖縄県那覇市泉崎2丁目105-18 Fax:0980-55-2245(仮・沖縄平和サポート)

【ゆうちょ銀行】記号:17040 番号:01742091 名義:アラカキヒトミ

【ゆうちょ銀行以外から振込みされる場合】店名:七〇八(ナナゼロハチ) 店番:708 預金種目:普通預金 口座番号:0174209 名義:アラカキヒトミ(会計担当)

ノーモア沖縄戦 命どう宝の会

メール: info@nomore-okinawasen.org

<共同代表>

石原昌家、具志堅隆松、ダグラス・ラミス、宮城晴美、山城博治

<会設立呼びかけ人>

新川明(沖縄タイムス元社長)、高嶺朝一(琉球新報元社長)、石原昌家(沖縄国際大学名誉教授・沖縄戦史)、桜井国俊(沖縄大学元学長・環境)、ダグラス・ラミス(国際政治学・元海兵隊員)、前泊博盛(沖縄国際大学教授)、木村朗(鹿児島大学名誉教授)、伊佐眞一(沖縄近現代史家)、大城貞俊(作家)、宮城恵美子(元琉球大学教員)、与那覇恵子(名桜大学非常勤講師)、具志堅隆松(遺骨収集ボランティア)、平良啓子(対馬丸語り部)、謝花悦子(伊江島反戦平和資料館館長)、宮城晴美(沖縄女性史家)、三上智恵(映画監督・ジャーナリスト)、山城博治(平和運動家)、與那覇有羽(民具作家)、新垣仁美(若者メンバー)、小波津義嵩(若者メンバー)、新垣邦雄(団体職員)



賛同フォーム（FAX、郵送用）

ネットができる方はできるだけネットをお願いします

※ 5人以上ご記入の場合は、この用紙をコピーしてお使いください。

■賛同していただいた方には今後、メール等を通じて関連ニュースや会のお知らせをお送りします。

■ご記入の際には「賛同者」、「呼びかけ人」のいずれかを選んでください。

- ・賛同者：会の趣旨にご賛同いただける方。
- ・呼びかけ人：賛同者のうち、お名前を出して、会の活動を拡げるために積極的に呼びかけを行っていただける方。（お名前を「呼びかけ人リスト」に掲載いたしません）

記入日：2022年 月 日

| お名前 | ご住所（沖縄の方は市町村まで、沖縄国外・国外の方は県名・国名だけをご記入をください） | 年齢 | どちらかを選んでください。 |
|-----|--|----|---------------|
| | | 代 | 賛同者・呼びかけ人 |

※「呼びかけ人」を選ばれた方は、よろしければ得意先をご記入ください（20字程度まで）

お名前 _____ 得意先 _____

応援メッセージ、会の活動で期待することなど、ご意見がありましたらお寄せください。

◇ご支援のお願い◇

「ノーモア沖縄戦 命どう宝の会」では、当会の活動を拡げていくためにも、一口500円からの積極的なご支援を募っております。ご理解、ご支援のほどよろしくお願い致します。

【口座情報】【ゆうちょ銀行】記号：17040 番号：01742091 名義：アラカキヒトミ（会計担当）

【ゆうちょ銀行以外の金融機関から振込みされる場合】店名：モロハ（アサゼロハチ）店番：708

預金種目：普通預金 口座番号：0174209 名義：アラカキヒトミ（会計担当）

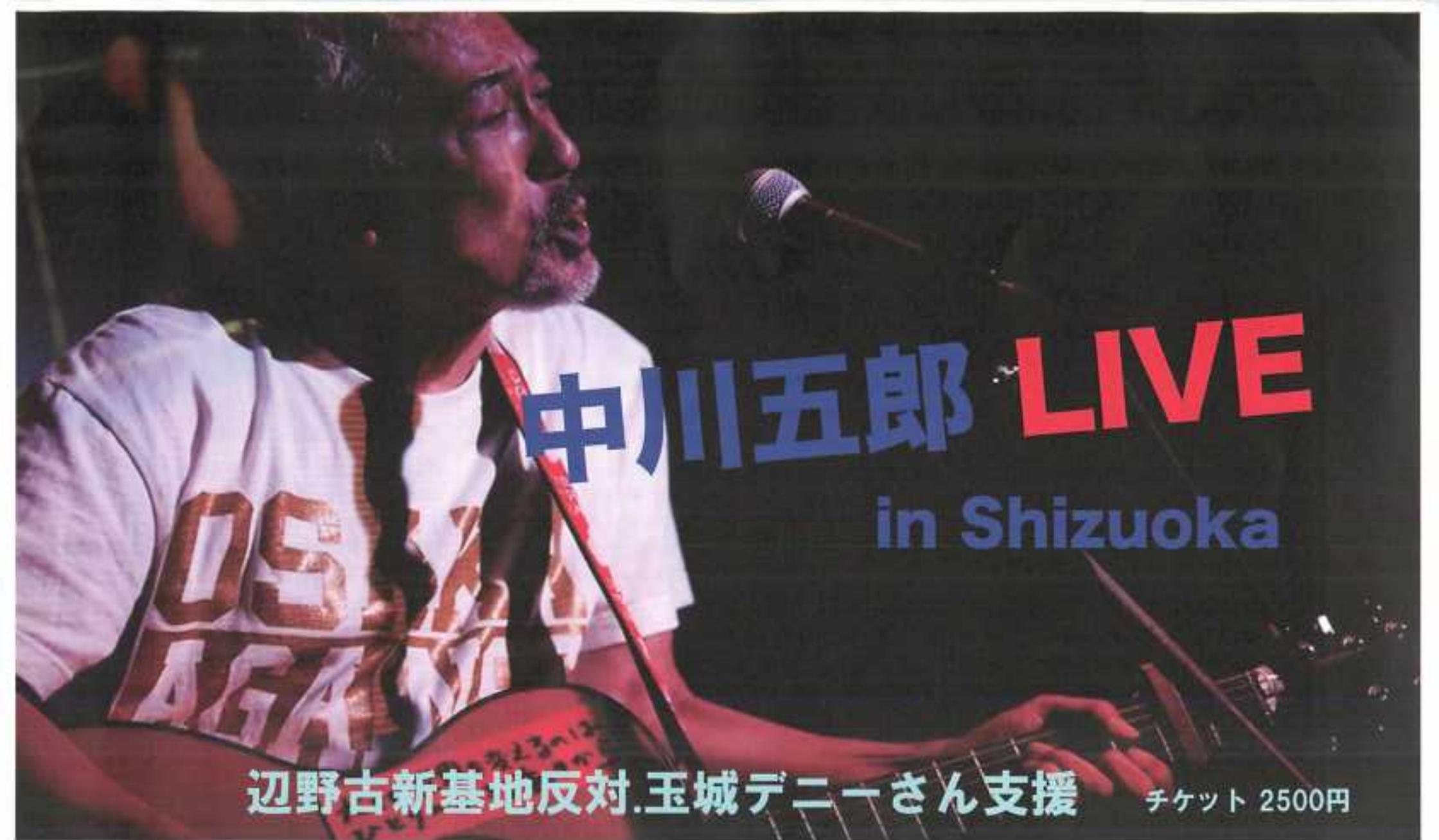
※領収証の必要な方は住所・氏名も併記してください

〈賛同用紙送付先〉

〒900-0021 沖縄県那覇市泉崎2丁目105-18

ノーモア沖縄戦 命どう宝の会

Fax：0980-55-2245（仮） Email：info@nomore-okinawa.acn.org



中川五郎 LIVE
in Shizuoka

辺野古新基地反対.玉城デニーさん支援

チケット 2500円

7月16日(土) 14:00~ (開場13:30)

MIRAIE リアン(コミュニティホール七間町)

主催
中川五郎を静岡へ呼ぶ会
090-9923-2845(長沢)

関東大震災直後の「福田村事件」を森達也さんが劇映画に 負の歴史から目を背けるな

関東大震災の直後、デマをもとにした朝鮮人虐殺が相次ぐ中、香川県の被差別部落の行商団9人が千葉県福田村（現在は同県野田市）内で自警団に拷殺された「福田村事件」を、劇映画にしようとする映画監督の森達也さんたちが取り組んでいる。ドキュメンタリーで有名な森さんにとっては初の劇映画で、公開予定は大震災から100年となる2023年。3月31日には東京・渋谷で、クラウドファンディングを盛り上げるためのシンポジウム「なぜ日本映画は負の歴史を描いてこなかったか」が、森さんら関係者7人が参加して開かれた。

シンポジウムによると、映画制作のきっかけは荒井晴彦さん（本映画企画）と井上淳一さん（同プロデューサー）が19年8月20日、2人がかかわった映画の舞台あいさつから帰る車中で、フオーク歌手・中川五郎さんの「1923年福田村の虐殺」(「どうぞそばになって下さい」収録)を聞いたこと。24分を超える歌は圧巻で、荒井さんは即座に「これ映画にしようよ」と呼びかけた。

井上さんがすぐに思い浮かべたのは製作費。自分たちの映画は1000万円規模で作っているが、関東大震災や大正時代の農村のオープンセットなどが必要な本作では1億〜2億円必要だと考えたという。荒井さんは多大な製作費がかかるとしても、「知った以上は伝えなければいけないだろう」とも話した。



3月31日のシンポジウム登壇者。左から井上淳一、荒井晴彦、佐伯俊道、辻野弥生、中川五郎、森達也、小林三四郎の各氏。

中川さんは、森さんが福田村事件について書いた「世界はもったいなく



「1923年福田村の虐殺」を歌う中川五郎さん。(撮影/ともに伊田浩之)

豊かだし、人はもったい無い(2003年・晶文社)で事件を知り、「何の反省もなく事件から目を背けてきたから(ヘイトスピーチがはびこる)今の日本の状況がある。事実をわかってほしい」と思った」と語った。

ある授賞式で、荒井さんが森さんに映画化を考えていると伝えると、森さん自身も企画を温めていくことを知り、森監督で進めることとなった。森さんの知名度なら資金を集めやすいとも考えたというが、難航している。

普通の人々が事件を起こす

森さんは事件を知った当時、テレビ局に企画を持ち込んだがボツになった。「加害者と被害者を分けて、加害者を罪悪で冷酷とするから加害者の側に身を置きたくなく

なる。でもオウム真理教の純朴な信者を取材する中で、善良で純朴だからこそ事件を起こしたと感じた。普通の人がある条件が整ったときにどんなでもないことをしてしまふ。福田村事件もそうです。その構造を見ていないから加害から目を背けてしまふ」と、負の歴史から目を背けるメディアの罪について語った。

脚本を担当する佐伯俊道さんは「当初は殺す側、殺される側、煽りたてる権力側の構造で描いたけれど、稿を重ねるにつれて、殺す側も殺される側も同じ人間なのに何かのきっかけで事件になることがわかってきた。一人ひとりの人間を丹念に描くことで、事件の狂気性を描き出すことに(テーマが)絞れてきた」という。

小林三四郎さん(同配給および統括プロデューサー)は「表現の自由が狭まってきている中、誰かがそれを押し返して表現の幅を広げないといけない。良い仕事をもたらした」と話している。

クラウドファンディングは4月15日から8月12日まで。開始後に「AirPort」森達也」で検索するとサイトが出てくる。目標金額は2500万円。中川さんのライブを除くシンポジウムの内容はYouTubeで公開されている。

伊田浩之・編集部

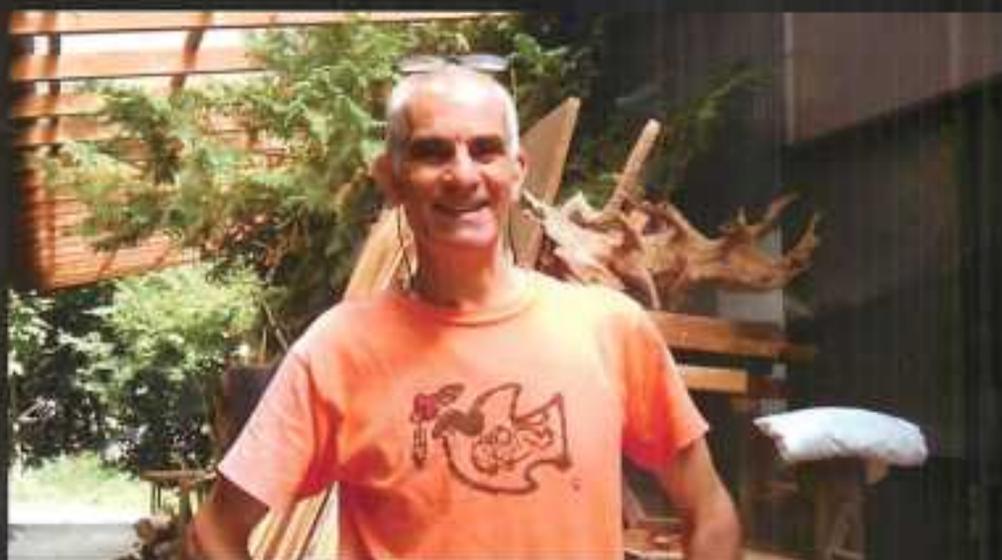
モノづくり ヒトづくり

～ひとの手仕事と真の平和、本当の豊かさ～

講演

ダニー・ネフセタイ

14:30～16:00



元イスラエル空軍兵士。木製家具作家、秩父在住、在日本40年。

- 演奏 河村典子《ヴァイオリン》・白土文雄(コントラバス) 14:00～
 - 展示 写真展「富士宮の自然」銭谷均
 - 販売 家具・小物販売(ながらや工房)
- 16:30まで
展示閲覧購入可能

2022年8月27日 土 開場:13:30 開演:14:00

富士宮市民文化会館小ホール (静岡県富士宮市宮町14番2号)
TEL(0544)23-1237

入場料 1,000円 (小中高生無料)

チケット申し込み(携帯番号・島野)、0544-22-5280(長澤)、info@happaya.net。(藤本)

※開催は状況に応じてコロナ対策を講じて行われ、
事後の動画配信も予定しています。
これまでの富士山ピース&アートフェスティバルの
活動(一部)は<https://www.youtube.com/>
富士山ピース&アートフェスティバルでご検索ください。



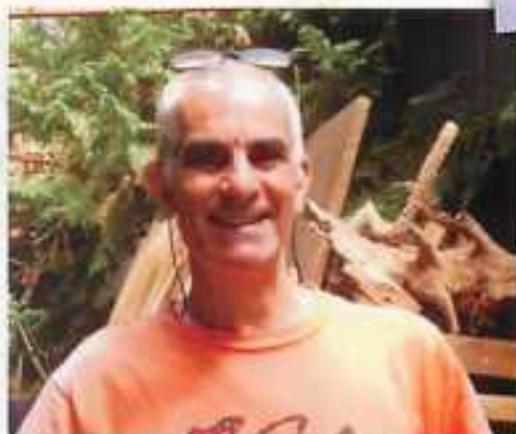
- 主催 富士山ピース&アートフェスティバル実行委員会
- お問合せ 長澤正義(080-3612-8527)

(富士山ピース&アートフェスティバルはいかなる宗教、政治、営利団体に属しません。)

ダニー・ネフセタイ

木製家具作家、元イスラエル空軍兵士。

《ものづくり、アーティストの役割は、人を喜ばせることだけでなく世の中を良くすること》を信条として制作活動、執筆・講演活動を続け、戦争の絶えない祖国で空軍兵として従事した体験からの平和への切実な思いを語っている。また、近年特に、高校・大学における客演講演にて、外国人の目に映る人権として、具体的な外国人差別というより、日本生まれ日本育ちの人の目には映りにくい差別と人権についてのメッセージを若い人たちに向けて発信している。



ヴァイオリン 河村典子 *Noriko kawamura*

ヴァイオリニスト。スイスを拠点に演奏活動、指導活動、様々なプロデュース活動を行う。

NHK/FM「名曲リサイタル」NHK/BS第2「クラシック倶楽部」出演。オフィスN 主宰。



コントラバス 白土文雄 *Fumio shirato*

コントラバス奏者。独自のメソッドによるコントラバス教則本の編纂のほか、室内楽のための編曲を多数手がけこの分野におけるコントラバスレパートリーの充実に貢献している。

写真家 銭谷均 *Hitoshi zeniya*

1948 横浜生まれ

1973 富士宮に移住

1983 銭谷写真事務所主宰

2003-07 常葉学園大学造形学部非常勤講師

2009-19 沼津情報ビジネス専門学校非常勤講師

写真展

1997 銀座ニコンサロン個展

2000 静岡県の写真家展 / カンヌ

2010 ギャラリーアートもりもと個展 / 銀座

2011 リュウギャラリー個展 / 富士宮

2018 金座ボタニカ個展 静岡



私たちは今、どんな時代を生きているのでしょうか？

三年近くも世界が分断されることになったパンデミックに続き、俄かに身近になった戦争という言葉…。分断は不安を呼び、不信は不寛容につながる。世情不安、恐慌、戦争…の流れは残念ながら歴史が証明しています。この疲れ切った不寛容な時代に、幼年期・青春時代を過ごす子どもたちや社会人としてのスタートを切る若者たち…。どうやって大人たちは、彼らに「それでも世界は素晴らしい！」と伝えることができるのでしょうか？

ピース&アート。
今、「武器と武力」より「楽器や鉛筆やペン」の力強さと人の「手仕事」のしなやかさを信じ切るには勇気が要るようです。しかし、私たちは「個」であっても「孤(独)」ではありません。
若い人たちにどんな未来へのメッセージを送ることが出来るのか、一緒に考えてみませんか？

平和を願う草の根運動

富士山ピース&アートフェスティバルでは、毎年、講演・映画・演劇・写真展・ワークショップ・ライブコンサート・アート作品展などの催しを行っています。地域と時代の日常に根差した平和への思いを多くの方々と共に共有できることを願っています。

Facebookページ



<https://www.facebook.com/fujisanpeacefestival/>